

# 断層

大野小学校

TEL 54-0409

## 第三十二回

### 大野学区三世代交流会

（各地区の公会堂に  
五百七十四名が集まりました）

## ～地域をつなぐに「大野の輪」～ 「大野の輪」を「大野の輪」で



事後の保護者へのアンケートでは、約八割の保護者の方が「よい交流ができた」と回答がありました。

各地区とも昨年同様ゴミはあまり落ちていない状況だったようですが、三世代交流会の大きなねらいである、地域の方々と子供たちとの交流は、深めることができたように思います。

今年度も、各地区の公会堂単位で集合し、地域のクリーン作戦を通してお互いの交流を図りました。それぞれの地区長さんが中心となり、子供たちも、はじめの会と終わりの会の進行や交流を深めるための簡単なゲームやクイズを考えて行いました。



十月二十九日（日）、第三十二回大野学区三世代交流会を開催しました。



また、「高学年の子供たちが司会等をよくがんばっていた。」「子供たちが考えてくれたふれあい遊びのおかげもあり、普段あまり話すことのできない地区の方とも交流できた。」と文書での記述もありました。反省点としては、地区ごとで参加人数に差があり、地区によっては十分に交流が深まらなかったと感じた方々がいたことや、三世代が集まりにくい地区、ゴミが落ちていなくてすぐに終わってしまったといった点などが挙げられていました。開催するのであればもとに戻してほしいといったご意見もありました。



十一月二十四日（金）に大野公民館で行われた、大野学区三世代交流会・第三回実行委員会では、各地区長さんから、「普段ふれあうことのできなかつた地域の子供たちや保護者の顔が見られてよかった」「高学年の子供たちの会の進行やゲームがよくがんばっていた」といった感想が聞かれました。

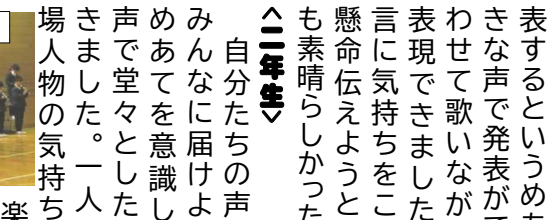


また、来年度に向けても「そろそろ以前のように学校に集まって開催する方がよいのでは」「交流が深まる会になるように」「などいろいろなご意見をいただきました。」「大野なべ」や開催日についても話題になりました。今後の検討事項となりましたが、みなさん真剣に三世代交流会のことを考えてくださっていて、交流の場を大切にしたいという思いがとてもよく伝わってきました。



3年生「かがみ野☆リサーチ」（学習発表）

自分たちの声や演技をみんなに届けようというめあてを意識し、大きな声で堂々とした発表ができました。一人一人が登場人物の気持ちになって楽しく演技する姿も素敵でした。



1年生「くじらぐも」（音楽物語）

本年度も感染症対策として、学年毎の入れ替え制で実施しましたが、会のスムーズな運営にご協力いただき深く感謝いたします。お陰様で、子供たちは練習の成果を発表する貴重な機会となりました。



大きな声で楽しく発表するというめあてを意識して、みんな合わせた歌いながら楽しく表現できました。一言一言に気持ちをこめて一生懸命伝えようとする態度も素晴らしいです。



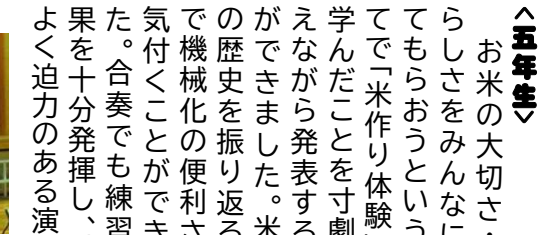
2年生「スイミー」（音読劇）

鏡野町のいいところを伝えようというめあてで夢広場の体験やプラント5での学習を分かりやすい劇にして表現できました。自分たちで創った歌や踊りを楽しそうに演じる子供たちは、生き生きと輝いていました。



6年生「歴史の旅へLet's go!!! ～情熱大陸を目指して～」（劇・合奏）

小学校生活最後の発表会を楽しもうというめあてで、歴史学習の内容を自分たちで劇化した発表でした。当時の様子やうまく伝わるように台詞や動きを工夫しながら楽しそうに発表できていました。合奏でも難しいリズムの曲を楽しく演奏できていました。アンコールもあり、子供たちの表情からも充実感があふれていました。六年生には残り四ヶ月間、学校のリーダーとして悔いの残らないように小学校生活を締めくくってほしいと思います。



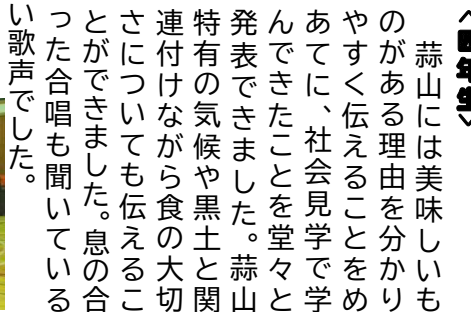
5年生「にこにこクラブさんの米作り」（学習発表）

お米の大切さ・素晴らしさをみんなに知ってもらおうというめあてで「米作り体験」から学んだことを寸劇を交えながら発表することができました。米作りの歴史を振り返ることで機械化の便利さにも気付くことができました。合奏でも練習の成果を十分発揮し、リズムよく迫力のある演奏ができました。



4年生「蒜山にはなぜこんな美味しいものがたくさんあるの。なぜなぜ」（学習発表・合唱）

蒜山には美味しいものがある理由を分かりやすく伝えることをめあてに、社会見学で学んできたことを堂々と発表できました。蒜山特有の気候や黒土と関連付けながら食の大切さについても伝えることができました。息の合った合唱も聞いています。



「アフリカン・シンフォニー」（合奏）

